会員増強は会長の腕の見せどころ ～地区委員会もご活用を！

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー　**樋口 明**

皆様、こんにちは。

新年度になり、クラブ活性化セミナーやクラブ奉仕プロジェクト委員長会議、米山梅吉記念館訪問など、地区委員会主催の行事が始まり、一方ガバナー公式訪問とクラブ協議会では、会長・幹事をはじめ、皆様にお会いして一緒に語り合えることの喜びを実感しております。今年度開催するセミナーや各クラブ委員長会議は、その趣旨を大切にしつつ、対面とオンライン開催を併用、メリハリをつけて行って参ります。オンラインで行ったセミナーでは、「移動時間がなくて有り難かった。」、「情報発信が主体のセミナーなので、オンラインが適していた。」等のコメントをいただきましたが、反省点や課題もしっかりと検証し改善してまいります。

さて、先日、RI より新たな情報が入ってまいりました。従来行われてきた研修について、参加者を活動の中心に据える行動計画の一環で、講師が教える場から、参加者が学びに積極的に関与し、参加者の考えを引き出す場、「研修(trainning)モデル」から「ラーニング（learning）モデル」にアプローチを変えるというものです。会合名や委員会名も「研修」から「ラーニング」へ、役職名も「研修リーダー」から「ラーニングファシリテーター」に変更されます。本年度、地区ではこれらの名称変更を致しませんが、今後切り替えていくことになると思います。ガバナー公式訪問（クラブ協議会）の際にも丁寧にご説明致しますが、宜しくご理解下さい。

今号から今年度月信の新コーナーが徐々に始まります。どんな連載が始まるか、詳細は P4 をご覧下さい。楽しみながら見分が広がるコーナーばかりです。どうぞご期待ください。

さて、8 月は「会員増強･新クラブ結成推進月間」です。今年度はご存じの通り、ロータリー会員（ロータリアン、ローターアクター）の目標数を 2,000 名にしました。会員の増強及び維持は、会長の腕の見せどころです。仲間を増やしたい、仲間を失いたくないとなりふり構わず行動している姿を見て、会員の皆様は「そこまで会長が本気ならば、よし、やってやろう！」と焚き付けられるはずです。クラブのこと、クラブの仲間のことを想って、とことん頑張っていただきたいと思います。

当地区のクラブは、伝統的に保守的と言われてきました。当然良い面はたくさんあります。ロータリー財団や米山記念奨学事業寄付への目的、目標金額の設定理由等は長年にわたる先達の教えが浸透し、会員の皆様のご理解に繋がり、秀でた実績を上げておりますことは周知の通りです。

悪い面として、前例踏襲で新しいことに挑戦しない、したくてもできない雰囲気があると感じていましたが、最近漸く新しいことをやってみようというクラブが増えてきました。横浜港北 RC のエレクト会員制、横浜鶴見北 RC のジュニア会員、アンバサダー会員制等、新しい会員種類を導入して成果を出しているクラブ、衛星クラブ設立に向けて検討しているクラブもあります。坂本地区会員増強委員長は、クラブ支援をすべく全クラブで卓話をして思いを伝えたい！と並々ならぬ決意でおられます。会員増強の know-how、他地区、他クラブの情報等につきましては、どうぞ遠慮なさらずにお問合せを。そのための地区委員会、存分にご活用ください。

結びになりますが、会長幹事はじめ皆様、時間はあっという間に過ぎていきます。

やれることは、即行動に移してください。一緒に頑張りましょう！

8 月は、会員増強・新クラブ結成推進月間です。